

共用品推進機構だより 2015年08月28日(19)

目次

(82) 賛助会員ニュース

- ▽「北九州の本社に『ミュージアム』／TOTO」
- ▽「『さわるテクノロジー2015』に賛助会員の長谷川貞夫氏が講演」
- ▽「老若男女で語り合う高齢社会フォーラム『～明るく活力ある長寿社会をめざして～第1回誰もが働きやすい社会づくりを』開催のお知らせ」

(83) 各種催しとお知らせ

- ▽「点字・音声出版記念講演『日米の架け橋 ～ヘレン・ケラーと塙保己一を結ぶ人間模様～』開催のお知らせ」

(84) 製品関連記事

- ▽中高年が乗りやすく／ヤマハ発動機」

(85) 行政関連記事

- ▽「生活支援ロボ 商品力向上支援 神奈川県が事業募集」

(86) その他、各種関連記事

- ▽「食品の健康度一目で判断／フランス」
- ▽「開けやすい食品包装袋 三洋グラビア、増産へ」

(87) 新刊紹介

- ▽『発達研究の旅 エール大学での研究生生活と教育実践への示唆』
- ▽『スヌーズレンの世界 重度知的障がい者のこちよ時間と空間を創る』
- ▽『歌でおぼえる手話ソングブック 3 あしたもあそぼう!』
- ▽『治ってますか？発達障害』

(82) 賛助会員ニュース

▼「北九州の本社に『ミュージアム』／TOTO」

TOTOは24日、北九州市の本社敷地内に複合施設棟「TOTOミュージアム」を新設し、28日に開業すると発表した。

周辺に分散していた企業の歴史資料館やショールームを集約した。2017年の創立100周年に向け新設を決めた。資料館では歴代の製品に加え、1964年の東京五輪の際にホテル用に開発した国内初のユニットバスを移設して展示した。水回りの歴史や又化の発展を紹介する。資料館は入場無料。

施設内にはショールームを併設しており、最新の製品と見比べることもできる。ほかに研修センターやホールなどの機能も持たせた。

(日経産業新聞 8月25日14面より抜粋)

▼「『さわるテクノロジー2015』に賛助会員の長谷川貞夫氏が講演」

五感の中でもこれからの活用が大きく期待される「触覚」をテーマにしたミニイベントです。「視覚障害者と情報処理」「ロボットを活用する触覚体験」「さわる美術館」の3つのパートに分かれた講演を中心に、実際のデモンストラレーションも体験いただけます。

※出演者やデモ体験の内容は一部変更になる場合もあります。あらかじめご了承ください。

主催：社会福祉法人桜雲会、有限会社読書工房、ヘレンケラーシステム開発プロジェクト

日時：2015年9月5日(土) 10:00～16:40

会場：北とぴあ(ほくとぴあ)7F 第二研修室

〒114-8508 東京都北区王子本町1-15-22

(東京メトロ南北線「王子駅」5番出口直結、JR京浜東北線「王子駅」北口徒歩2分、都電荒川線「王子駅前」徒歩5分)

<http://www.hokutopia.jp/access/>

参加費：無料(参加予約制)

※参加希望の方は、以下メールアドレスへ「9月5日参加希望」という件名をつけて、お名前・所属先(あれば)・連絡先メールアドレス

をお知らせください。1～2日のうちに、受付した旨のメールを返信いたします。

E-メール：info@d-kobo.jp

イベント内容：

10：00 開会のことば

【パート1】

10：10～12：00 視覚障害者と情報処理

長谷川貞夫（ヘレンケラーシステム開発プロジェクト）、
有光 勲（元高知盲学校教諭）、横田隆彦（高知システム開発）

12：00 昼食

【パート2】

13：00～14：45 ロボットを活用する触覚体験

長谷川貞夫（ヘレンケラーシステム開発プロジェクト）、
三好孝典（豊橋技術科学大学）

14：45 休憩

【パート3】

15：00～16：30 さわる美術館

嶺重 慎（京都大学）、大内 進（手と目でみる教材ライブラリー）

16：30 閉会のことば

16：40 終了

- ▼「老若男女で語り合う高齢社会フォーラム『～明るく活力ある長寿社会をめざして～第1回誰もが働きやすい社会づくりを』開催のお知らせ」

わが国は少子高齢化に伴い、老若男女それぞれの存在感が高まっています。そうした中、老若男女が相互に尊敬し合い、協働して、それぞれが生きがいとやりがいを持って心豊かに暮らせる社会づくりが求められています。本フォーラムは、超高齢社会の様々な課題について、老若男女、関係者が同じ土俵で語り合う中で、課題解決への具体的な道筋を探ろうとするものです。

日時：2015年9月12日（土）14：00～17：00

[受付開始13：00より]

場所：拓殖大学文京キャンパスC館 303 教室

住所：東京都文京区小日向3-4-14

最寄り駅：地下鉄丸ノ内線茗荷谷駅下車徒歩3分

プログラム

14：00～14：10

開会挨拶 [渡辺利夫・高活協会長]

14：10～14：50

基調講演：上田研二

60歳以上の人材派遣の（株）高齢社創業者・現最高顧問、
高活協理事長

テーマ「夢と生きがいに充ちた生涯現役人生」

15：00～16：50

パネルディスカッション ※参加者も交えて討議

コーディネーター：河合雅司 産経新聞論説委員

コメンテーター：権丈英子 亜細亜大学経済学部教授

パネリスト：

野村邦男 東京ガスライフバル TAKEUCHI（株）代表取締役会長

*社内に女子社員の子育てや親の介護等家事支援
サービスの利用料の半額を負担する制度を実施

前崎望 TAKEUCHI(株)社員*制度のサービス利用者

有我昌時 （株）かじワン代表取締役社長

*主に高齢の女性を雇用して家事支援サービスを提供

16：50～17：00

総括・講評～閉会の辞にかえて～ [岡本憲之・高活協副理事長]

定員：200名※定員になり次第、締め切らせていただきます。

参加費：500円※当日、会場にてお支払いいただきます。

申込み：（一社）高齢者活躍支援協議会事務局宛に

名前、住所、TEL、会社・団体名、コメントを記入の上、
以下の FAX またはメールアドレスへ送る。

FAX：03-6661-0604

E-mail：info@jcasca.org

主催：一般社団法人高齢者活躍支援協議会 [略称：高活協]

協力：拓殖大学、産経新聞社、シニアセカンドキャリア

推進協会、高齢社会 NGO 連携協議会、

NPO 法人高齢社会をよくする女性の会

問い合わせ

（一社）高齢者活躍支援協議会事務局（水野）

TEL：03-6661-0018

E-mail：info@jcasca.org

(83) 各種催しとお知らせ

▼「点字・音声出版記念講演『日米の架け橋 ～ヘレン・ケラーと埴保己一を結ぶ人間模様～』開催のお知らせ」

この度、既出の図書「日米の架け橋 ～ヘレン・ケラーと埴保己一を結ぶ人間模様～」(佐藤隆久 著)の点字版・音声版を当会で出版することとなりました。それを記念し、講演会を開催することとなりました。

本書は、ヘレン・ケラーと埴保己一がいかにして偉人になり得たのか。そしてその過程で二人をサポートしていた周囲の存在など今まであまり知られてこなかった点にも着目しています。

日時：平成 27 年 10 月 10 日 13:30～

場所：埴保己一資料館

東京都渋谷区東 2-9-1

交通：JR 渋谷駅東口から都バス 54 番

「日赤医療センター行」3 丁目「國學院大前」下車前進 200m

プログラム：

①紙芝居「埴保己一ものがたり」

公益社団法人 温故学会理事 齊藤 昌子

②基調講演「書物の精 埴保己一の人生」

公益社団法人 温故学会理事長 齊藤 幸一

③記念講演「佐藤隆久著『日米の架け橋』を読んで」

公益社団法人 温故学会研究員 堺 正一

定員：先着 70 名

参加費：無料

主催：社会福祉法人 桜雲会

共催：公益社団法人 温故学会

後援：渋谷区教育委員会

東京日本橋ライオンズクラブ

申込み・問い合わせ先：

社会福祉法人 桜雲会 担当 甲賀

TEL：03-5337-7866

FAX : 03-6908-9526

E-mail : ounkai@nifty.com

(84) 製品関連記事

▼「中高年が乗りやすく／ヤマハ発動機」

電動アシスト自転車「パスシオン」の新モデル2機種。中高年向けにサドルの高さを低くし、走行を補助するモーターを軽量化した。モーターの駆動を制御するために前輪の車軸に取り付けている速度計測センサーの大きさを従来品より大幅に小型化し、見た目もすっきりした印象にしている。

(日経MJ 8月21日12面より抜粋)

(85) 行政関連記事

▼「生活支援ロボ 商品力向上支援 神奈川県が事業募集」

神奈川県は機能性が高く利用しやすいデザインの生活支援ロボットの開発を支援する。力を入れずにものを握れる形状や親しみが持てる外観などユーザーとなる障害者や高齢者の視点を前面に採り入れたデザインを打ち出し、商品力を高める。6日から県内中小企業などを対象にモデル事業の募集を開始。年内にも3Dプリンターを導入、2016年3月までに試作品を完成させる計画だ。

(日経MJ 8月21日9面より抜粋)

(86) その他、各種関連記事

▼「食品の健康度一目で判断／フランス」

2013年にフランスが国民の栄養摂取状態を調べ、そこで子供の肥満が心配の種になった。朝食は特別にシリアルが問題だった。

そこでパッケージに成分を文章と数字ではなく、一目でわかる色で表示し、健康に良いか悪いかを知らせよう、という運動がフランスの民間団体オープン・フード・ファクト（Open Food Facts）ではじまった。成分ごとにA～Eの記号と5色で表し、緑から赤になるにしたがって健康に良くないことを示するというものだ。

脂肪、糖分などに参考値を設け、その増減に対応して5段階でランクをつける。この表示は1992年に始まった電気製品と家屋エネルギー消費のエコラベルと同じだから、消費者にわかりやすい。同じ食品でブランドが異なるものを簡単に比較できるところが便利だ。

フランスのスーパーマーケット、カルフル（Carrefour）は自社の製品パッケージに4色の三角マークでどのくらいの頻度で摂取するのが健康的かを示す表示を始めた。健康に関する表示が規制になるかどうかはまだ不透明だが、スーパーが自ら健康と食品の関係をパッケージにわかりやすく表示しようという動きから目が離せない。

（日経産業新聞 8月25日15面より抜粋）

▼「開けやすい食品包装袋 三洋グラビア、増産へ」

食品包装袋を製造する三洋グラビアは開封しやすい新たな包装袋の生産量を今後3年で10倍に引き上げる。力の弱い高齢者でも開封できるほか、個食に対応した力を入れにくい小さな袋も簡単に開けられる。

新形状の包装袋の名前は「ワンツーカット袋」。2015年3月に実用新案登録をした自社開発品だ。フィルム状の袋を貼り合わせたのりしろ部分の端に切り込みがあり、その切り込みからのりしろ部分を引っ張って切り取ると、袋が開いた状態になる。

のりしろ部分を左右に引っ張る一般的な開け方よりも、小さな力で開けられる。

（日経MJ 8月28日9面より抜粋）

（87）新刊紹介

▼『発達研究の旅 エール大学での研究生生活と教育実践への示唆』

子どもの成長や発達を促す教育指導のあり方を探るという目標を達成するた

めに、アメリカのエール大学で発達研究を進めた著者が、そのなかでの経験や、いろいろな人々との交流を綴り、発達研究の体系をまとめる。

著：田中道治（たなか・みちはる）

発行：クリエイツかもがわ

本体価格：1800 円（税別）

ISBN：978-4-86342-168-4

▼『スヌーズレンの世界 重度知的障がい者のこちよい時間と空間を創る』

重度知的障がい者にリラクゼーションや安らぎをもたらす活動「スヌーズレン」。創始者らが、その歴史や取り組みの経緯、さまざまな実践、用具などを紹介する。監訳者による解題も掲載。

著：ヤン・フルセッヘ アド・フェアフル

発行：福村出版

本体価格：3500 円（税別）

ISBN：978-4-571-12126-5

▼『歌でおぼえる手話ソングブック 3 あしたもあそぼう！』

歌から手話をはじめよう！楽しく歌いながら手話に親しめる手話ソング全 14 曲を収録。歌詞と手話の関係や表現のポイントをイラストで表示する。切り取って使う「手話でおぼえる 47 都道府県ポスター」付き。

著：新沢としひこ（しんざわ・としひこ）

手話指導：中野佐世子（なかの・さよこ）

発行：鈴木出版

本体価格：1900 円（税別）

ISBN：978-4-7902-7240-3

▼『治ってますか？発達障害』

発達障害の人たちの未来のために。シンプルな治し方とは？社会にわかってもらうには？自閉症を中心とした発達障害の本を出してきた編集者・浅見淳子と、自らの学習障害を受け止め、改善してきた南雲明彦の対話集。

著：南雲明彦（なぐも・あきひこ）浅見淳子（あさみ・じゅんこ）

発行：花風社

本体価格：1600 円（税別）

ISBN : 978-4-907725-94-5

(編集後記)

8月11日、夏休みを利用して、イタリアで開催されているミラノ万博を見学しました。食をテーマにした万博で、日本館は和食の文化、器、食材などを展示と映像で紹介し、来館者も一緒に参加できるパビリオンです。レストランも隣接していました。

会場の様子はブログにアップしましたので、是非ご覧ください。

ブログ <http://www.kyoyohin-news.org/>

共用品推進機構公式サイト <http://www.kyoyohin.org/>

共用品ニュース (ブログ) <http://www.kyoyohin-news.org/>